

労働者福祉南部ブロック協議会主催

2019年度 第7回 労働運動・労働者福祉運動の 理念・歴史・リーダー養成講座

日 時 2019年8月23日(金) 13時～
2019年8月24日(土) 12時～

場 所 九州労働金庫宮崎県本部3階会議室

労働者福祉南部ブロック協議会(南部労福協)主催によるリーダー養成講座が宮崎市で開催されました。福岡県労福協からは、各会員団体(労金、こくみん共済coop、連合福岡、福岡県生協連、地域労福協)の構成員の方に参加をして頂きました。

今回、リーダー養成講座開催の目的は、中央労福協が1949年に設立され今年で70周年、連合は結成30年という歴史的な節目を迎えましたが、ここ30年、行き過ぎた市場経済至上主義が社会の隅々まで入り込み、労働運動や労働者福祉運動は劣勢に立たされ続けてきました。

その結果、物心に亘る人々の生活にまで侵入し、労働金庫やこくみん共済coop、生協連など関係する事業団体の理念や歴史、労働組合と生協活

動との関わりなど「創業の初心」が希薄になってきています。

そうした状況が続く中、中央労福協は2009年11月、「連帯と協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現をめざす2020年ビジョンを採択、そして、本年は、この間の取り組みの総括も踏まえ、向う2030年ビジョンを策定します。

南部労福協としても、労働運動・労働者福祉運動が果たしてきた役割を認識・理解し、次代のリーダー育成が最重要課題であるという認識から、労働者福祉運動の推進とともに、原点回帰を含め職場・地域でこれら運動の伝承者となるリーダーの育成は喫緊の課題として位置付け、本講座を開催しました。

構成員の みなさん



中央労福協講師団講師
高橋 均氏



九州労金福祉金融室副室長
武田 恵介氏



こくみん共済coop九州統括本部
宮崎 浩介氏



子どもシェルター宮崎代表
増田 良文氏



沖縄県労福協アドバイザー
玉城 勉氏



連合総合組織局総合局長
山根木 晴久氏



沖縄県労働金庫エリアリレーション室
知念 拓氏

平和で安定した 社会・暮らしの実現をめざして



今年の広島・長崎の平和集会の様子

連合は「安心して暮らし、働き、労働運動に携わることのできる社会」のため、平和運動として主に以下の3つの課題に取り組んでいます。その中で、毎年「平和4行動」として6月～9月までに4つの会場（沖縄・広島・長崎・根室）で集会を開催しており、連合福岡では全ての集会に参加しています。

- ① 核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化
- ② 在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
- ③ 北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

そして更に現在は、2020年「核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議」へ向けた「核兵器廃絶1000万署名」の取り組みによる県内各地での署名活動も行っています。

オンラインでの署名も受け付けていますので、詳細は連合本部のHPをご覧ください。

核兵器のない世界をめざした取り組みに是非ご協力ください。

第16回「NPO助成フォーラム」開催 ～九州ろうきん福岡県本部～

九州労働金庫は、地域社会の一員として、また福祉金融機関としての役割を発揮するため、NPO法人・ボランティアグループなどへの経済的支援を目的とした「NPO助成」制度を設けています。今回で16回目となる2019年度の募集には39団体の応募があり、労働団体・マスメディア・NPO支援組織等で構成されるNPO助成審査委員会による厳正な審査の結果、子育て支援・ジェンダー問題の解決・災害被災者支援など、様々な分野で精力的に活動されている下記の10団体に対し、総額297万円を助成することが決まりました。これを受け、8月22日(木)にオリエンタルホテル福岡で開催した「第16回 九州ろうきん福岡県本部NPO助成

フォーラム」では、助成団体やNPO助成審査委員など32名が参加し、助成金の贈呈式を行いました。また、昨年度の助成団体を代表し「NPO法人 ギフテッド」と「杷木復興支援ベース」より、昨年度の助成金を活用した活動報告を行っていただき、フォーラムは盛会のもと終了しました。



第16回NPO助成団体(10団体)

地区	団体名	活動内容
福岡	一般社団法人 チャレキッズ	発達障がいや知的障がいのある子ども達の将来の就労の促進と定着を目指し、地域社会と企業と連携し、障がいのある子ども達へ職業体験の機会を提供。
	特定非営利活動法人 On Pal	病気で入院生活を送る子ども達等に、プロの音楽家による質の高い音楽プログラムを提供し、音楽の力で元気と笑顔を届ける活動を行っている。県内外の病院にて音楽授業や、コンサートを開催。
	ふくおか地域日本語の会	日本で暮らしている日本語を母国語としない人々が日本語を身につけ地域社会の一員として生活できるように支援しているボランティアのために勉強会・研修会・交流会を開催。
	特定非営利活動法人 Wing-Wing	家族の成長と子ども達の自立心を育む活動として、放課後デイサービス施設における障がい児とその家族への花育活動を通じた、「笑顔になれる時間」の提供。
	NPO法人 福岡ジェンダー研究所	自治体との協働を含め、相談事業・研修事業・研究調査・政策提言事業・人材養成事業を核に、ジェンダー問題に関する活動を展開。
	福岡まんなか子ども劇場	子どものために優れた芸術を鑑賞し、児童文化の創造、発展に寄与する。舞台鑑賞などの体験活動を通じて子どもも大人も共に育ち合える仲間づくり、地域づくりを目指す。
北九州	北九州市立大学 子ども食堂応援プロジェクト	北九州市が力を入れている、地域の子どもや子どもを見守る大人が楽しく安心して過ごすことを目的とした子ども食堂や地域食堂の運営に対し、学習支援や見守りのボランティアとして参加する活動を展開。
筑豊	朗読・コア	視覚障害者及び高齢者のために、市の刊行誌・小説などを音声化したり録音して提供するという取り組みを展開。
筑後	NPO法人 つなぎteおおむた	東日本大震災支援で学んだ「平常時の備え。繋がりがつくり」の重要性をイベントを通して、大牟田市民に伝える活動や、SNSを活用した災害・防災のヒント等の発信も行っている。
	NPO法人 そよかぜ学童おおむた	「小学校6年生まで子どもが安全で、健全な成長が出来る学童を」と願って設立。学童期にしか出来ない遊びを通じて、子どもの輪を大切に育む活動を展開。

開催報告

福岡県労働者共済生活協同組合 第70回通常総代会ならびに こくみん共済 coop〈全労済〉第2回 福岡推進本部組合員代表者会議

こくみん共済 coop 福岡推進本部(福岡県労働者共済生活協同組合)は、2019年7月31日(水)に西鉄グランドホテルにおいて「福岡県労働者共済生活協同組合 第70回通常総代会」ならびに「こくみん共済 coop〈全労済〉第2回 福岡推進本部組合員代表者会議」を開催しました。

こくみん共済 coopは2018年度より中期経営政策「New-Zetwork(2018年度～2021年度)」において、時代の変化に対応した新しい姿「Zetworkスタイル」を目指し、「お役立ち発想」と「共創活動」で協力団体・組合員に柔軟・機敏な対応をすすめ、より組合員のための労済運動となるよう事業推進の取り組みをすすめてまいります。



2019年度 代表委員会役員

役職	氏名
本部長(再任)	佐田 正二
副本部長(再任)	藤田 桂三
副本部長(再任)	井上 弘暢
副本部長(再任)	先川 勇司
事務局長(再任)	坂本 隆浩
代表委員(再任)	川崎 智喜
代表委員(再任)	石場 浩美
代表委員(再任)	幸野 直通
代表委員(再任)	古賀 孝治
代表委員(再任)	西 央人
代表委員(再任)	福田 千秋

役職	氏名
代表委員(再任)	山田 英樹
代表委員(再任)	吉村 淳治
代表委員(再任)	石堂 高大
代表委員(再任)	井手 拓也
代表委員(再任)	大塚 康宏
代表委員(再任)	清田 高志
代表委員(再任)	種田 茂樹
代表委員(再任)	田畑 忠治
代表委員(再任)	野田 和之
代表委員(再任)	塚野 恭子
代表委員(再任)	久保 亮平

役職	氏名
代表委員(再任)	齊藤 公二
代表委員(新任)	濱崎 健泰
代表委員(再任)	加邊 直樹
代表委員(再任)	木原 正志
代表委員(再任)	相良 栄治
代表委員(再任)	堂原 弘志
代表委員(再任)	森川 康幸
代表委員(再任)	梅田 政博
代表委員(再任)	山崎 徳之
代表委員(再任)	田中 宏
代表委員(再任)	豊福 明子

一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.rofuku.net/> [メールアドレス] roufuku@h8.dion.ne.jp

ろうふく協 NEWS
vol.162

発行 2019年9月20日
発行人 西村 芳樹
編集 藤吉 眞二